



なかしん

中小企業景況レポート

No.24 中栄信用金庫 地域支援部

平成29年7月～9月実績と平成29年10月～12月見込み

◆調査概要

調査時期 平成29年9月上旬
 調査地域 秦野市、伊勢原市、平塚市、厚木市、開成町
 調査企業数 346社
 回答企業数 331社

【調査先及び回答状況】

	調査先	回答数	回答率
製造業	94	92	97.8
卸売業	26	25	96.1
小売・飲食業	66	63	95.4
サービス業	56	52	92.8
建設業	63	59	93.6
不動産業	41	40	97.5
合計	346	331	95.6

◆7月～9月期の概況

～景況感は悪化し、一進一退が続く～

当金庫主要営業地区内における中小企業を対象に景気動向調査を実施した結果、全業種総合の業況判断 D.I. は▲1.8 を示し、前回調査（平成29年4～6月期）に比べ6.0ポイントの悪化となりました。これは、建設関連における受注の増勢にやや一服感がみられたことに加え、人手不足に伴う人件費・外注費の負担増、天候不順などの影響による客足の鈍化や建設工事の工期遅れが足かせとなり、売上額・収益 D.I. が悪化に至ったことから、景況感は一進一退の動きが続いております。このような中、一部企業においては、受注が回復基調にあることから、業容拡大を企図した機械設備の新・増設を実施したほか、新規顧客獲得に向け、店舗リニューアルを行う動きもみられます。

また、深刻な人手不足を背景に、生産性向上を目的とした機械化の推進や人材確保・定着化に向けた教育訓練の強化、労働条件の改善を今後の課題とする動きも見受けられます。

項目別にみると、売上実績 D.I. は6.5ポイント悪化の4.6、収益実績 D.I. は3.0ポイント悪化の0.0となっております。また、仕入価格 D.I. は4.4ポイント上昇感が弱まり20.9、資金繰り D.I. は5.2ポイント悪化の▲14.8、人手過不足についてはほぼ横這いの▲28.1となっております。

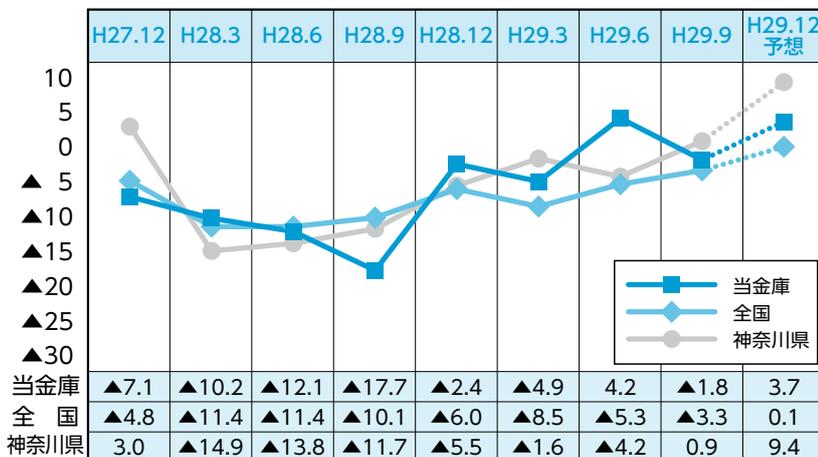
また業種別の景況感は、製造業が7.9ポイント改善の19.6、小売・飲食業が4.8ポイント改善の▲11.1、サービス業が5.8ポイント悪化の▲5.8、不動産業が13.0ポイント悪化の▲5.1、建設業が16.9ポイント悪化の▲11.9、卸売業が47.0ポイント悪化の▲20.0となっております。（業種別の詳細については、次頁以降をご参照ください。）

なお、全国の中小企業業況判断 D.I. は、2.0ポイント改善の▲3.3、神奈川県内は、5.1ポイント改善の0.9となっております。（全国と神奈川県の D.I. 値については、信金中央金庫による調査に基づいております。以下同様。）

◆10月～12月期の見通し

来期の業況判断予想は、5.5ポイント改善の3.7、売上額 D.I. は6.0ポイント改善の10.6、収益 D.I. は7.5ポイント改善の7.5の予想となり、小売・飲食業以外の5業種で改善の見込みとなっております

業況判断 D.I. 値 (全業種)



全国、神奈川県の業況判断 D.I. 値は、信金中央金庫 地域・中小企業研究所が全国約16,000（うち神奈川県約480）の中小企業を対象に実施している「全国中小企業景気動向調査」の調査データに基づいております。

D.I. 値とは、ディフュージョン・インデックス (Diffusion Index) の略で、「良い」「やや良い」と回答した企業の割合から、「悪い」「やや悪い」と回答した企業の割合を引いた値です。値が小さいほど業況判断は悪いということになります。

業種別景気天気図

	前期	今期	予想
総合			
製造業			
卸売業			
小売・飲食業			
サービス業			
建設業			
不動産業			

※この天気図は、景気指標を総合的に判断して作成しました。

好調 ← → 低調
 良い ← → 悪い

製造業

概況

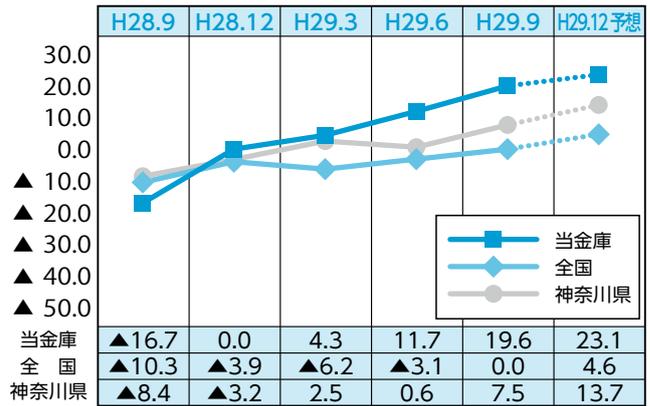
製造業の業況判断D.I.は前回調査比7.9ポイント改善の19.6となりました。項目別では、売上額D.I.はほぼ横這いの23.9、収益D.I.は3.6ポイント改善の21.7となっております。

輸出の持ち直しに加え、国内の自動車業界における新型車投入効果に伴い、受注状況は総じて回復基調にあるほか、一部企業においては、納入先との価格交渉により、人件費や原材料価格の上昇分を、販売価格に転嫁する動きがみられたことから、収益D.I.がやや改善し、景況感 は4期連続の改善に至ったものと思われます。また、深刻な人手不足の中、今後の施策として、機械化の推進を 挙げる企業が増加していることから、生産性向上に向け、戦略的な取組みを検討する動きもみられます。

なお、全国は3.1ポイント改善の0.0となっており、 神奈川県は6.9ポイント改善の7.5となっております。

来期の予想業況判断については、3.5ポイント改善の 23.1と予想されております。

業況判断 D.I. 値



売上額

	D.I.			
前期実績	45.7	34.1	20.2	25.5
当期実績	40.2	43.5	16.3	23.9
来期予想	33.6	51.2	15.2	18.4
前年同期比	42.3	31.7	26.0	16.3

販売価格

	D.I.			
前期実績	11.7	79.8	8.5	3.2
当期実績	11.9	86.0	2.1	9.8
来期予想	-10.8	86.0	3.2	7.6

在庫

	D.I.			
前期実績	-6.3	91.6	2.1	4.2
当期実績	-6.5	85.9	7.6	▲1.1
来期予想	-3.2	89.2	7.6	▲4.4

人手

	D.I.			
前期実績	-6.3	59.7	34.0	▲27.7
当期実績	-7.6	56.6	35.8	▲28.2
来期予想	-5.4	57.7	36.9	▲31.5

収益

	D.I.			
前期実績	36.1	45.9	18.0	18.1
当期実績	34.7	52.3	13.0	21.7
来期予想	33.6	53.4	13.0	20.6
前年同期比	38.0	41.4	20.6	17.4

原材料価格

	D.I.			
前期実績	30.8	68.2	1.0	29.8
当期実績	29.6	69.4	1.0	28.6
来期予想	25.2	73.8	1.0	24.2

資金繰り

	D.I.			
前期実績	17.0	63.9	19.1	▲2.1
当期実績	11.9	70.8	17.3	▲5.4
来期予想	11.9	71.8	16.3	▲4.4

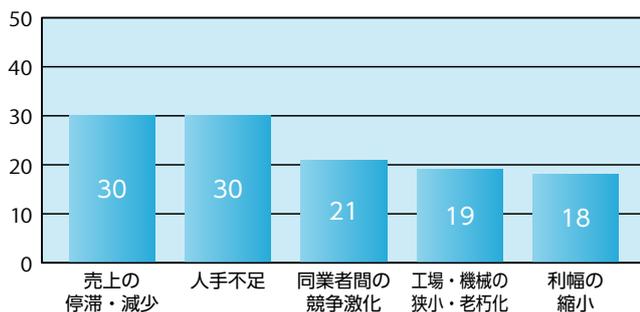
設備状況

	D.I.			
前期実績	-9.5	73.5	17.0	▲7.5
当期実績	-6.5	66.1	27.4	▲20.9
来期予想	-6.6	63.4	30.0	▲23.4

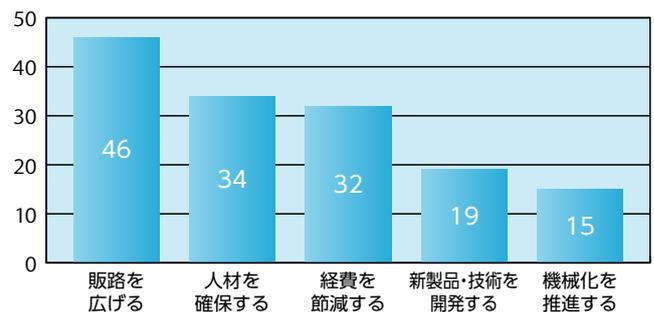
当期実績…29年 7～ 9月期
来期予想…29年10～ 12月期

□ 良い、増加、上昇
□ 普通、変わらず
□ 悪い、減少、下降

経営上の問題点 (複数回答)



当面の重点経営施策 (複数回答)



卸売業

概況

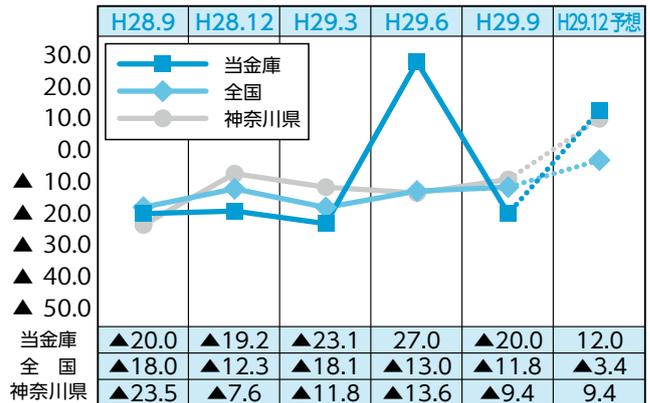
卸売業の業況判断 D.I. は前回調査比 47.0 ポイント悪化の▲20.0 となりました。項目別では、売上額 D.I. は前回調査比 11.2 ポイント悪化の 8.0、収益 D.I. は 11.4 ポイント悪化の 4.0 となっております。

これは、建設業における受注の一段落や天候不順の影響を受け、建材卸を中心に売上が減少したことに加え、同業者間の競争激化の中、事業縮小に伴う取引先の減少を危惧する企業も見受けられたことから、資金繰り D.I. は 12.2 ポイント悪化の▲16.0 となり、景況感は悪化に至ったものと思われます。

なお、全国は 1.2 ポイント小幅改善の▲11.8 となっており、神奈川県は 4.2 ポイント改善の▲9.4 となっております。

来期の予想業況判断については、32.0 ポイント改善の 12.0 と予想されております。

業況判断 D.I. 値



売上額

	前期実績	当期実績	来期予想	前年同期比	D.I.
前期実績	38.4	42.4	19.2		19.2
当期実績	36.0	36.0	28.0		8.0
来期予想	28.0	56.0	16.0		12.0
前年同期比	24.0	44.0	32.0	▲8.0	

販売価格

	前期実績	当期実績	来期予想	D.I.
前期実績	11.5	80.9	7.6	3.9
当期実績	20.0	72.0	8.0	12.0
来期予想	8.0	88.0	4.0	4.0

在庫

	前期実績	当期実績	来期予想	D.I.
前期実績	8.0	88.0	4.0	4.0
当期実績	8.3	83.4	8.3	0.0
来期予想	8.3	87.6	4.1	4.2

人手

	前期実績	当期実績	来期予想	D.I.
前期実績	3.8	73.2	23.0	▲19.2
当期実績	76.0	24.0		▲24.0
来期予想	64.0	36.0		▲36.0

収益

	前期実績	当期実績	来期予想	前年同期比	D.I.
前期実績	30.7	54.0	15.3		15.4
当期実績	24.0	56.0	20.0		4.0
来期予想	24.0	60.0	16.0		8.0
前年同期比	24.0	44.0	32.0	▲8.0	

仕入価格

	前期実績	当期実績	来期予想	D.I.
前期実績	28.0	64.0	8.0	20.0
当期実績	28.0	68.0	4.0	24.0
来期予想	8.0	88.0	4.0	4.0

資金繰り

	前期実績	当期実績	来期予想	D.I.
前期実績	11.5	73.2	15.3	▲3.8
当期実績	12.0	60.0	28.0	▲16.0
来期予想	16.0	60.0	24.0	▲8.0

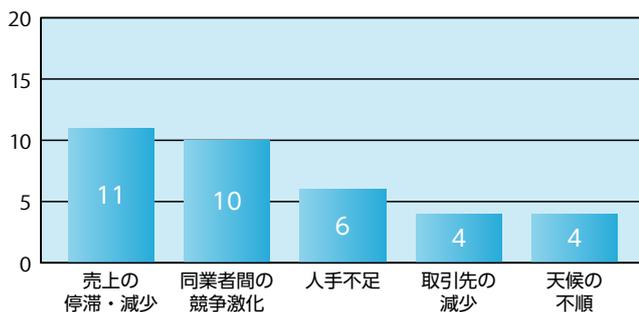
設備状況

	前期実績	当期実績	来期予想	D.I.
前期実績	4.0	80.0	16.0	▲12.0
当期実績	4.0	80.0	16.0	▲12.0
来期予想	4.0	84.0	12.0	▲8.0

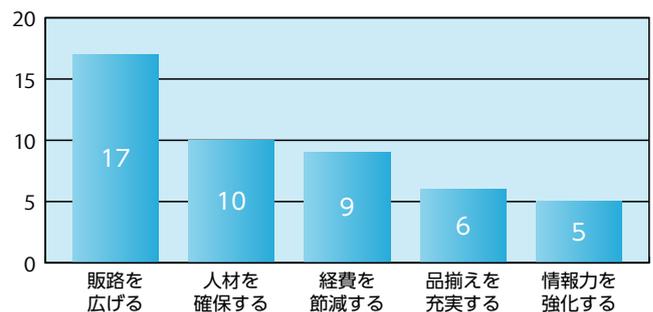
当期実績…29年 7～ 9月期
来期予想…29年10～ 12月期

□ 良い、増加、上昇
□ 普通、変わらず
□ 悪い、減少、下降

経営上の問題点 (複数回答)



当面の重点経営施策 (複数回答)



小売・飲食業

概況

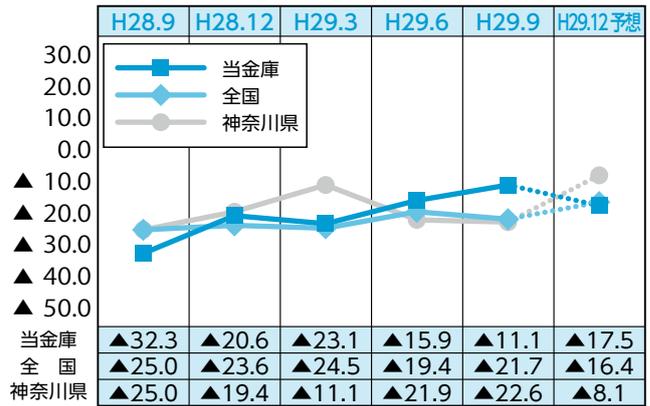
小売・飲食業の業況判断 D.I. は前回調査比 4.8 ポイント改善の▲11.1 となりました。項目別では、売上額 D.I. は前回調査比 11.0 ポイント悪化の▲6.4、収益 D.I. は 17.3 ポイント悪化の▲9.5 となっております。

一部では、新規顧客獲得に向け店舗リニューアルを実施する動きがみられたものの、天候不順などの影響に伴う客足の鈍化に加え、生鮮食品を中心とした仕入価格の高止まり、人件費の増加などが足かせとなり、利幅の縮小を懸念する企業が増加していることから、景況感は小幅改善となり、依然としてマイナス域が続いております。また仕入価格 D.I. が 2.0 ポイント上昇の 27.0 と高止まりが続く中、仕入先・仕入条件の見直しによるコスト削減を図る動きも見受けられます。

なお、全国は 2.3 ポイント小幅悪化の▲21.7、神奈川県はほぼ横這いの▲22.6 となっております。

来期の予想業況判断については、6.4 ポイント悪化の▲17.5 と予想されております。

業況判断 D.I. 値



売上額

	前期実績	当期実績	来期予想	前年同期比	D.I.
前期実績	29.6	45.4	25.0		4.6
当期実績	25.3	43.0	31.7		▲6.4
来期予想	28.5	49.3	22.2		6.3
前年同期比	30.6	30.7	38.7		▲8.1

販売価格

	前期実績	当期実績	来期予想	D.I.
前期実績	14.0	82.9	3.1	10.9
当期実績	15.8	79.5	4.7	11.1
来期予想	17.4	76.3	6.3	11.1

在庫

	前期実績	当期実績	来期予想	D.I.
前期実績	20.3	76.6	3.1	17.2
当期実績	20.6	69.9	9.5	11.1
来期予想	-9.5	79.4	11.1	▲1.6

人手

	前期実績	当期実績	来期予想	D.I.
前期実績	-10.9	53.2	35.9	▲25.0
当期実績	-6.3	57.2	36.5	▲30.2
来期予想	-1.5	57.3	41.2	▲39.7

収益

	前期実績	当期実績	来期予想	前年同期比	D.I.
前期実績	29.6	48.6	21.8		7.8
当期実績	23.8	42.9	33.3		▲9.5
来期予想	26.9	49.3	23.8		3.1
前年同期比	24.1	42.1	33.8		▲9.7

仕入価格

	前期実績	当期実績	来期予想	D.I.
前期実績	28.1	68.8	3.1	25.0
当期実績	33.3	60.4	6.3	27.0
来期予想	28.5	65.2	6.3	22.2

資金繰り

	前期実績	当期実績	来期予想	D.I.
前期実績	-4.6	67.3	28.1	▲23.5
当期実績	-9.5	54.0	36.5	▲27.0
来期予想	-9.5	55.6	34.9	▲25.4

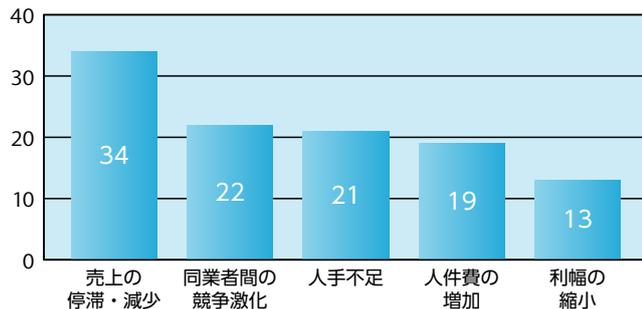
設備状況

	前期実績	当期実績	来期予想	D.I.
前期実績	-1.5	79.5	19.0	▲17.5
当期実績	-1.6	82.3	16.1	▲14.5
来期予想	-1.6	83.7	14.7	▲13.1

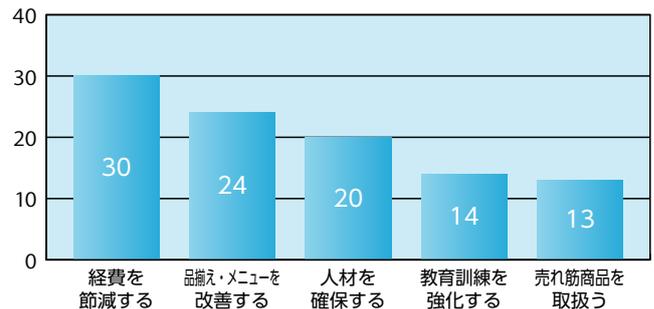
当期実績…29年 7～ 9月期
来期予想…29年10～ 12月期

□ 良い、増加、上昇
□ 普通、変わらず
□ 悪い、減少、下降

経営上の問題点 (複数回答)



当面の重点経営施策 (複数回答)



サービス業

概況

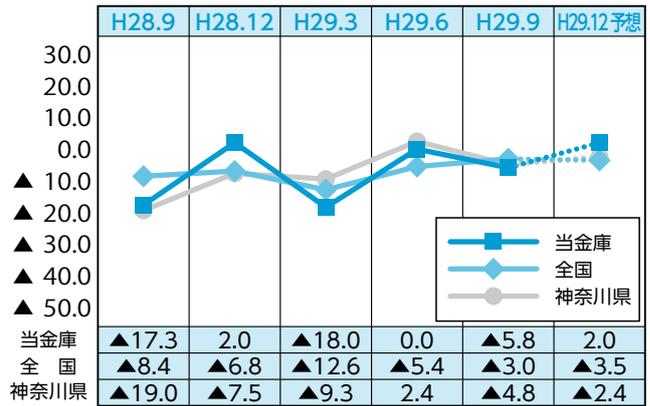
サービス業の業況判断 D.I. は前回調査から 5.8 ポイント悪化の▲5.8 となりました。項目別では、売上額 D.I. は前回調査比 3.7 ポイント改善の 5.7、収益 D.I. は 9.6 ポイント改善の▲1.9 となっております。

一部の運送業や医療・介護事業を中心に、売上増加がみられたものの、約 4 割の企業が、前回調査に比べ、売上・収益が「普通」と回答し、実体はほぼ横這いであることに加え、競合他社や代替サービスの台頭により、料金価格への転嫁に苦慮する様子が窺えることから、景況感は悪化に至ったものと思われます。また、一部企業においては、設備の狭小・老朽化から、事業所の建替え・改修を検討する動きや人材確保・定着化に向け、労働条件の改善を今後の課題とする企業も見受けられます。

なお、全国は 2.4 ポイント小幅改善の▲3.0 となっており、神奈川県は 7.2 ポイント悪化の▲4.8 となっております。

来期の予想業況判断については、7.8 ポイント改善の 2.0 と予想されております。

業況判断 D.I. 値



売上額

	前期実績	当期実績	来期予想	前年同期比	D.I.
前期実績	34.6	32.8	32.6		2.0
当期実績	30.7	44.3	25.0		5.7
来期予想	32.6	48.2	19.2		13.4
前年同期比	32.6	42.4	25.0		7.6

料金価格

	前期実績	当期実績	来期予想	D.I.
前期実績	7.6	88.6	3.8	3.8
当期実績	1.9	88.5	9.6	▲7.7
来期予想	1.9	90.5	7.6	▲5.7

資金繰り

	前期実績	当期実績	来期予想	D.I.
前期実績	9.6	59.7	30.7	▲21.1
当期実績	7.6	71.3	21.1	▲13.5
来期予想	5.8	66.8	27.4	▲21.6

設備状況

	前期実績	当期実績	来期予想	D.I.
前期実績	3.8	73.2	23.0	▲19.2
当期実績	1.9	71.2	26.9	▲25.0
来期予想		73.5	26.5	▲26.5

収益

	前期実績	当期実績	来期予想	前年同期比	D.I.
前期実績	26.9	34.7	38.4		▲11.5
当期実績	26.9	44.3	28.8		▲1.9
来期予想	26.9	46.2	26.9		0.0
前年同期比	23.0	54.0	23.0		0.0

材料価格

	前期実績	当期実績	来期予想	D.I.
前期実績	23.0	77.0		23.0
当期実績	23.0	77.0		23.0
来期予想	17.3	82.7		17.3

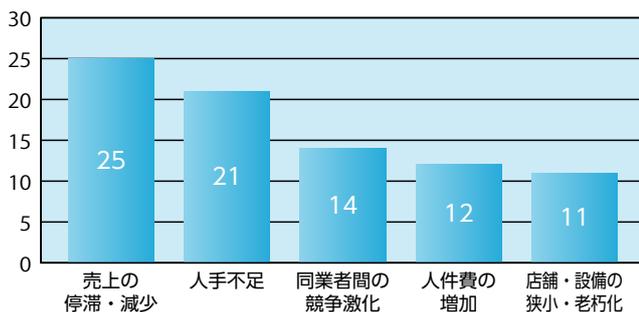
人手

	前期実績	当期実績	来期予想	D.I.
前期実績	7.6	55.9	36.5	▲28.9
当期実績	3.8	59.7	36.5	▲32.7
来期予想		59.7	40.3	▲40.3

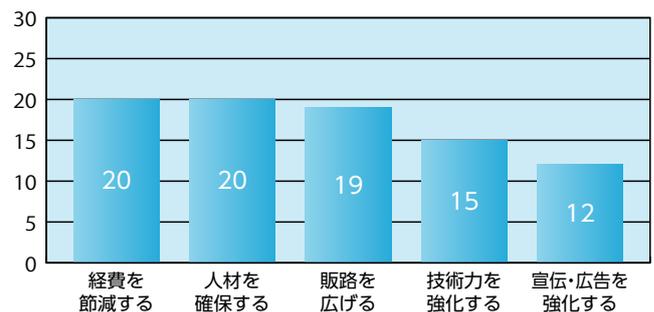
当期実績…29年 7～ 9 月期
来期予想…29年 10～ 12 月期

□ 良い、増加、上昇
□ 普通、変わらず
□ 悪い、減少、下降

経営上の問題点 (複数回答)



当面の重点経営施策 (複数回答)



建設業

概況

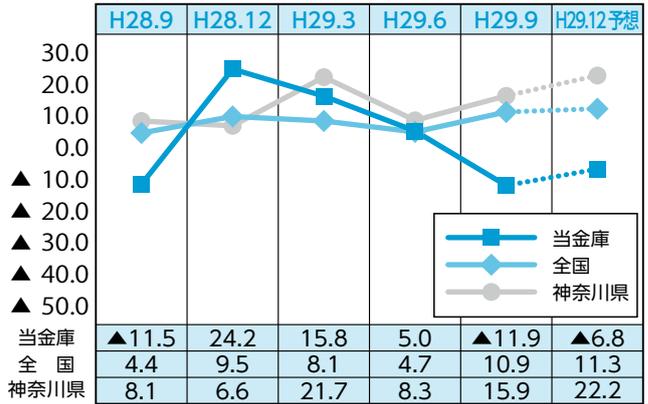
建設業の業況判断 D.I. は前回調査比 16.9 ポイント悪化の▲11.9 となりました。項目別では、売上額 D.I. は前回調査比 15.0 ポイント悪化の▲8.4、収益 D.I. は 3.7 ポイント悪化の▲22.0 となっております。

一部では、都心に近い地域を中心とした大型の民間工事や公共工事の獲得により、受注を確保する企業が見受けられるものの、総体的には、受注の増勢にやや一服感がみられるほか、約 2 割の企業が天候不順を経営上の問題点として挙げ、工期遅れに伴う資金繰りの悪化が足かせとなり、景況感は 3 期連続の悪化に至ったものと思われます。また、慢性的な人手不足に伴う人件費の増加や外注先の確保難に加え、従業員の高齢化が進む中、若手技能者が不足していることから、技術の承継も今後の課題となっております。

全国は 6.2 ポイント改善の 10.9 となっており、神奈川県は 7.6 ポイント改善の 15.9 となっております。

来期の予想業況判断については、5.1 ポイント改善の▲6.8 と予想されております。

業況判断 D.I. 値



売上額

	前期実績	当期実績	来期予想	前年同期比	D.I.
前期実績	31.6	43.4	25.0		6.6
当期実績	27.1	37.4	35.5		▲8.4
来期予想	22.0	56.0	22.0		0.0
前年同期比	28.8	44.1	27.1		1.7

請負価格

	前期実績	当期実績	来期予想	D.I.
前期実績	-10.0	80.0	10.0	0.0
当期実績	-8.4	83.2	8.4	0.0
来期予想	-15.2	76.4	8.4	6.8

在庫

	前期実績	当期実績	来期予想	D.I.
前期実績	-5.0	93.4	1.6	3.4
当期実績	-10.1	88.3	1.6	8.5
来期予想	-8.4	90.0	1.6	6.8

人手

	前期実績	当期実績	来期予想	D.I.
前期実績	65.0	35.0		▲35.0
当期実績	6.7	52.7	40.6	▲33.9
来期予想	1.6	57.8	40.6	▲39.0

収益

	前期実績	当期実績	来期予想	前年同期比	D.I.
前期実績	15.0	51.7	33.3		▲18.3
当期実績	16.9	44.2	38.9		▲22.0
来期予想	22.0	54.3	23.7		▲1.7
前年同期比	23.7	50.9	25.4		▲1.7

材料価格

	前期実績	当期実績	来期予想	D.I.
前期実績	30.5	69.5		30.5
当期実績	25.4	71.3	3.3	22.1
来期予想	22.0	74.7	3.3	18.7

資金繰り

	前期実績	当期実績	来期予想	D.I.
前期実績	13.5	71.3	15.2	▲1.7
当期実績	-6.7	61.1	32.2	▲25.5
来期予想	-6.7	67.9	25.4	▲18.7

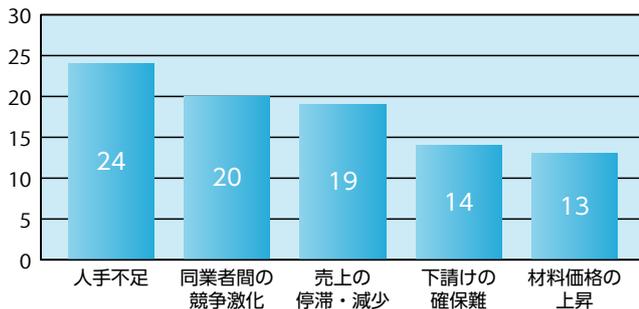
設備状況

	前期実績	当期実績	来期予想	D.I.
前期実績	-1.6	88.4	10.0	▲8.4
当期実績	-3.5	93.0	3.5	0.0
来期予想	-3.5	91.3	5.2	▲1.7

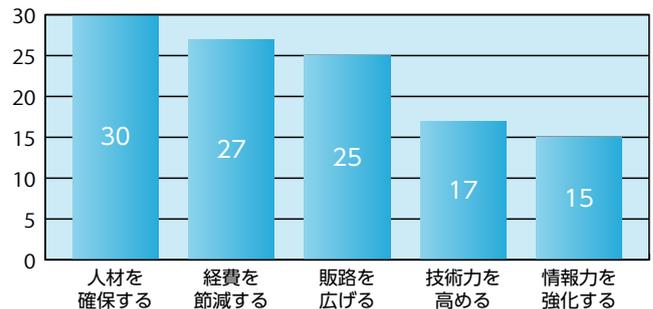
当期実績…29年 7～ 9月期
来期予想…29年10～ 12月期

□ 良い、増加、上昇
□ 普通、変わらず
□ 悪い、減少、下降

経営上の問題点 (複数回答)



当面の重点経営施策 (複数回答)



不動産業

概況

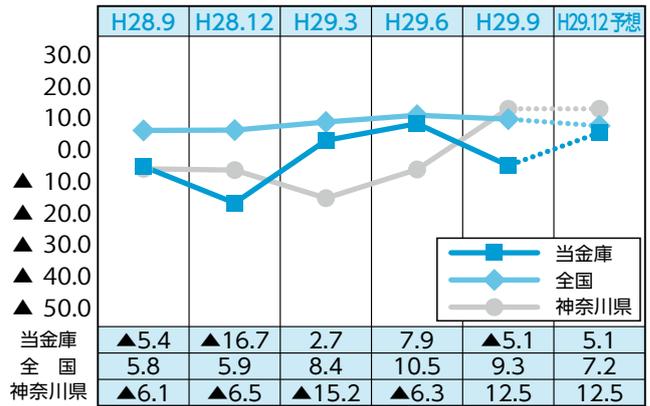
不動産業の業況判断 D.I. は前回調査比 13.0 ポイント悪化の▲5.1 となりました。項目別では、売上額 D.I. は前回調査比 7.5 ポイント悪化の▲7.5、収益 D.I. は 5.1 ポイント悪化の▲2.5 となっております。

県央エリアや湘南エリアを中心に、商品物件に売却の動きがみられ、在庫過不足 D.I. が▲40.0 と 4.9 ポイント不足感が強まる中、経営上の問題点として、約 4 割の企業が、利幅の縮小を挙げ、採算性や今後の需給動向を踏まえた物件の確保を課題としていることから、景況感 は 3 期ぶりに悪化に至ったものと思われます。また一部企業においては、一定エリアに営業人員を増やし、販売強化を図る動きが見受けられます。

なお、全国は 1.2 ポイント小幅悪化の 9.3 となっており、神奈川県は 18.8 ポイント改善の 12.5 となっております。

来期の予想業況判断については、10.2 ポイント改善の 5.1 と予想されております。

業況判断 D.I. 値



売上額

	前期実績	当期実績	来期予想	前年同期比	D.I.
前期実績	28.9	42.2	28.9		0.0
当期実績	17.5	57.5	25.0	▲7.5	
来期予想	25.0	60.0	15.0	10.0	
前年同期比	25.0	42.5	32.5	▲7.5	

販売価格

	前期実績	当期実績	来期予想	前年同期比	D.I.
前期実績	5.2	68.5	26.3		▲21.1
当期実績	2.5	72.5	25.0	▲22.5	
来期予想	5.0	80.0	15.0	▲10.0	

在庫

	前期実績	当期実績	来期予想	前年同期比	D.I.
前期実績	8.1	48.7	43.2		▲35.1
当期実績	7.5	45.0	47.5	▲40.0	
来期予想	5.0	52.5	42.5	▲37.5	

人手

	前期実績	当期実績	来期予想	前年同期比	D.I.
前期実績	79.0	21.0			▲21.0
当期実績	87.5	12.5		▲12.5	
来期予想	82.5	17.5		▲17.5	

収益

	前期実績	当期実績	来期予想	前年同期比	D.I.
前期実績	28.9	44.8	26.3		2.6
当期実績	22.5	52.5	25.0	▲2.5	
来期予想	22.5	62.5	15.0	7.5	
前年同期比	27.5	45.0	27.5	0.0	

仕入価格

	前期実績	当期実績	来期予想	前年同期比	D.I.
前期実績	18.4	76.4	5.2		13.2
当期実績	5.0	77.5	17.5	▲12.5	
来期予想	12.5	72.5	15.0	▲2.5	

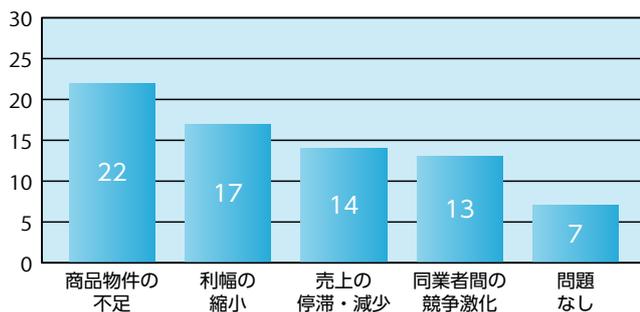
資金繰り

	前期実績	当期実績	来期予想	前年同期比	D.I.
前期実績	10.5	73.8	15.7		▲5.2
当期実績	10.0	77.5	12.5	▲2.5	
来期予想	12.5	77.5	10.0	2.5	

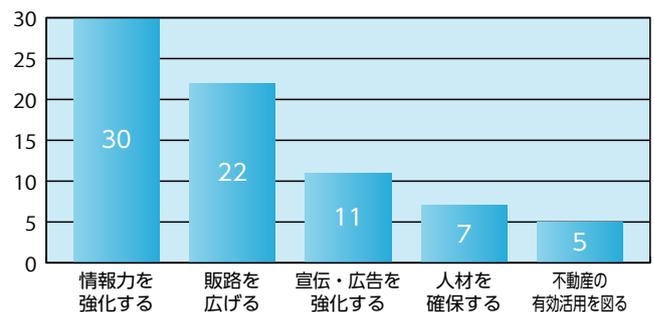
当期実績…29年 7～ 9月期
来期予想…29年10～ 12月期

□ 良い、増加、上昇
□ 普通、変わらず
□ 悪い、減少、下降

経営上の問題点 (複数回答)



当面の重点経営施策 (複数回答)



特別調査 中小企業経営と地域の関わりについて

当金庫のお客様 346 社にお願いして特別調査を実施いたしました。

問1. 貴社では、以下に列挙する団体等に参加していますか。3つ以内でお答えください。

○商工会・商工会議所	238社	○まったく加入していない	30社
○各種組合（同業種・地域等）	130社	○青年会議所	20社
○青色申告会・法人会	84社	○その他	14社
○信用金庫が組織する経営者会等	53社	○銀行が組織する経営者会等	12社
○ロータリークラブ・ライオンズクラブ	33社	○中小企業家同友会	3社

問2. 貴社が地域経済との関わりの中に取り組んでいる、あるいは協力・協賛している地域での活動について、3つ以内でお答えください。

○お祭り等のイベント	139社	○防犯・防災活動	40社
○まったく取り組んでいない	86社	○しごとづくり（雇用の創出）	20社
○商店街・中心市街地の活性化	65社	○農商工連携・地域資源の活用	18社
○異業種交流・産学官連携	63社	○地場産業や伝統産業の振興	13社
○観光振興活動	44社	○地元への移住の促進	6社

問3. 貴社では、問2で挙げたような各種地域活動への参加に対して、どのようなイメージをお持ちですか。3つ以内でお答えください。

○地域企業としての責任を果たせる	130社	○人手の負担がある	28社
○地域内でネットワークが築ける	117社	○従業員の意欲が高まる	27社
○自社の評判が高まる	84社	○そもそも参加に意義が感じられない	25社
○時間の余裕がない	63社	○周囲との付き合いが負担	15社
○自社の業績向上につながる	60社	○資金面での負担がある	12社

問4. 問2で挙げたような各種地域活動について、何らかの活動に取り組んでいる場合は、その活動が自社の経営あるいは事業に及ぼしている影響を1つお答えください。また、活動に取り組んでいない場合は、今後の活動への取組みの意向を1つお答えください。

取り組んでいる企業	取り組んでいない企業		
○プラスの影響	33社	○取り組んでみたい	11社
○どちらかといえばプラスの影響	100社	○どちらともいえない	73社
○どちらともいえない	96社	○取り組みたくない	10社
○どちらかといえばマイナスの影響	2社		
○マイナスの影響	1社		

問5. 今後、地域での各種活動がさらに活発化していくために、地元自治体や地域金融機関に期待することはありますか。3つ以内でお答えください。

○補助金・助成金・協賛金等の提供	136社	○外部への情報発信の強化	60社
○多様なアイデア・企画の提供	78社	○人手の抛出	41社
○人的ネットワークの強化	67社	○まったく期待していない	29社
○地元住民への周知	63社	○活動場の提供	23社
○地域の結束の促進	62社	○リーダーシップの発揮	21社

経営のポイント!

『事業承継に向けた早期取組みの重要性』

経営者の高齢化が進む中、事業承継には、下記のとおり、人・資産・知的資産など引き継ぐことが多岐に亘るため、事前の準備が大切です。後継者が決まっても、対策が十分でないと、いざ事業承継という段階で、①相続の問題②取引先や従業員との関係③経営権の分散④自社株・事業用資産の取得に必要な資金の不足等、様々な問題が発生することもありますので、早期からの取組みが必要となります。

ヒトの承継 ・後継者 ・従業員	資産の承継 ・自社株式 ・事業用資産（不動産・設備等） ・資金（手元資金、運転資金等）
目に見えにくい経営資源の承継 ・経営理念 ・顧客情報 ・知的財産権（特許等） ・営業秘密 ・ノウハウ ・経営者の持つ信用	



当金庫では、中小企業の皆さまが抱える事業承継に関する様々なお悩みに対し、外部専門家や外部機関と連携した支援を行ってまいりますので、お気軽にご相談ください。

「誰に」「どのような方法で」「いつ」引き継ぐのかは重要な経営課題です。